



SHONAN

湘南鎌倉総合病院広報誌

し ょ う な ん め ー る

Mail

Number 1 38
2018 September



▶ 特集 ◀

副院長就任ご挨拶

腎臓病総合医療センター

腎免疫血管内科 主任部長 **大竹 剛靖**

リハ室だより

腎臓リハビリテーション

がんサロン

救急車が新しくなりました

別紙

第3回 湘南鎌倉マンモサタデー

乳がん サポートミーティング開催!

院内コンサートのお知らせ

江ノ島の夕暮れ

撮影者:ME室 種山 かよ子

腎臓病総合医療センター・泌尿器科
Kidney Disease and Transplant Center - Urology
腎移植外科・腎代替治療
Kidney Transplant Surgery - Renal Replacement Therapy

36



— Doctor's —
VOICE

ドクターから患者さんへ



Special interview

副院長

大竹 剛靖

おおたけ

たかやす

腎臓病総合医療センター
腎免疫血管内科 主任部長

副院長としてなすべきことは何か

昨今の医療問題を考えた際にもっとも大事なことは「医療を通じて職員全員で患者さんを守ること」です。あらゆる点で質の向上に努めることが求められています。

慢性腎疾患患者さんが 透析に至らないための再生治療を

本年1月に当院副院長職を拝命致しました大竹剛靖です。新たな職責に身の引き締まる思いですが、皆様どうかよろしくお願ひ申し上げます。

専門である腎臓内科の診療として、これまでに腎不全患者さんへの血液透析、腹膜透析、そして5年前からは小林修三院長代行の指示のもと、日高寿美腎移植内科部長や看護師をはじめとした多くの職員の尽力を得て腎移植治療を進めてきました。2008年には、「生命だけは平等だ」の徳洲会の理念に基づき、アフリカ透析医療支援のスタートとして、モザンビークに直接出向き、現地での初の透析医療支援を行いました。現在まで絶えることなく医療支援は続き、10年で19カ国まで透析医療支援活動は広がっています。2009年にはアメリカ・メリーランド大学のInstitute of Human Virology (AIDS ウイルスを発見した Robert. Gallo 教授の研究所) に再生医療の勉強のため留学をさせて頂き、それを足がかりに現在重症下肢虚血※を呈する透析患者さんへの幹細胞移植による血管新生療法、さらには急性腎不全患者さんへの幹細胞移植による腎再生療法に取り組んでいます。

今後は慢性の腎疾患患者さんが透析に至らないための再生治療を進めていきたいと思っています。医師としてこれまでかけがいのない経験を数多くさせて頂き、当院さらには徳洲会グループの皆様深く感謝しております。

虚血(※) 動脈血量の減少による局所の貧血のこと



腎臓や尿を通じて
体全体を診る。
そして体だけでなく
心も診る。



徳洲会として、世界的に先進的な医療を推進していく

再生医療をライフワークの1つとして取り組んでいます、「透析患者の重症下肢虚血に対する自己 CD34 陽性細胞移植治療」が、虚血性潰瘍治療においてそれまでの常識をくつがえすほどの驚くべき治療効果をあげたのを受け、国際的に高い評価を受けている再生医療関連雑誌にその成果を論文文化して投稿しました。その結果、その治療効果は非常に高い評価を受け、featured article (特筆すべき業績) として認められました (Stem Cells Translational Medicine 2018 Ohtake T, Kobayashi S, et al. 世界に向けてプレスリリース発信されます)。

左上の写真はそのプレスリリースに掲載される写真で、上司小林修三院長代行との写真です。その他、ヒト急性腎不全においても、基礎的研究でヒト末梢血培養単核球細胞移植が劇的な腎不全改善効果を認めたことを受け (Cell Transplantation 2018 Ohtake T, Kobayashi S, et al)、ヒト急性腎不全として世界的にも初の (first in man) 臨床研究を行なっています。徳洲会として、世界的に先進的な医療を推進しておりますので、このような疾患で困っている患者さんに一人でも多く良い医療を提供していきたいと思っております。



世界に向けてプレスリリースされた論文の1ページ

虚血性潰瘍(※)

※動脈硬化で足先の血管が狭窄したり閉塞するため虚血が生じ、その結果できる潰瘍のことで、難治性のものが多い。

潰瘍(※)

※皮膚の表面が炎症を起こしてくずれ、深いところまで傷ついた状態のこと。



CD34陽性細胞(※)移植風景

※造血幹細胞のこと。血液細胞のもととなる細胞で、投与すると血管新生に非常に有効ということが分かっている。



安全かつ信頼に足る医療の提供が最も大切

さて、副院長としてなすべきことは何か、昨今の医療問題を考えた際にもっとも大切なことは、医療を通じて職員全員で患者さんを守ることだと思います。あらゆる点で質の向上に努めることが求められています。安全な医療の提供が最も大切で、そのためには医療者が日々医療の質の向上に努力する必要があります。基本的医療行為から最先端の医療、十分な説明同意プロセス、患者さんの納得のいく安全で信頼に足る医療の提供が大切です。このためには医師のみならず看護部やリハビリテーション科、栄養管理センター、薬剤部、検査部、放射線科、ME室、国際医療支援室、地域総合医療センター、治験センター、事務職員など、すべての職員の自覚と高い意識が必要です。当院ではQI（質の向上:Quality Improvement）活動を推進しています。院内すべての部署で目的を持ち、部署ごとに個々に質の向上に取り組むことを通じて病院全体の質が向上するよう努力しています。これをさらに良いものにしていきたいと考えています。

地域連携を今まで以上に推進し

患者さんにとって良い医療を提供すること

病棟の窓からは、病院に隣接する先端医療センターの建設工事が進んでいるのが見えます。近隣の武田薬品工業株式会社湘南研究所は、今年4月から湘南ヘルスイノベーションパークと名称を変えて、産官学が結集した創造の場となり湘南の地から世界をリードする最先端の研究を発信し、世界中の皆さんの健康に貢献することが期待されています。また、湘南鎌倉総合病院の鎌倉市医師会への加入が8月に行われ、地域連携を今まで以上に推進していくことが求められており、当院の未来図が大きく変動する時期にあります。今まで以上に地域連携や先端的医療まで含めた医療の質の向上に努め、一人でも多くの患者さんのためになるように力を尽くしますので、皆様どうかよろしくご厚意申し上げます。



大竹 剛靖
(おおたけ たかやす)

湘南鎌倉総合病院 副院長 腎臓病総合医療センター 腎免疫血管内科 主任部長 医学博士

履歴

- 1981年(昭和56年) 磐田南高校 卒業
- 1987年(昭和62年) 浜松医科大学 卒業、同大学第1内科 入局
- 1988年(昭和63年) 富士宮市立病院 内科勤務
- 1990年(平成2年) 浜松医科大学大学院博士課程 入学
- 1994年(平成6年) 同卒業、医学博士の学位修得
- 1995年(平成7年) 富士宮市立病院 内科医長
- 1998年(平成10年) 富士宮市立病院 内科科長
- 2002年(平成14年) 湘南鎌倉総合病院 腎臓内科部長
- 2009年(平成21年) メリーランド大学 Institute of Human Virology に半年間留学し、再生医療の研究活動に従事
- 2012年(平成24年) 湘南鎌倉総合病院 腎臓病総合医療センター 腎免疫血管内科主任部長
- 2018年(平成30年) 湘南鎌倉総合病院 副院長～現在に至る

学術賞

- 第1回 日本腎臓財団研究奨励賞 受賞(平成15年100万円)
「慢性腎不全患者の透析導入期冠動脈疾患の検討」
- 第8回 腎と心血管障害研究会最優秀演題賞
- 第8回 アジア細胞治療学会優秀ポスター演題賞

研究テーマ

- 慢性腎臓病の病態と動脈硬化および高血圧
- 腎不全および透析患者の栄養と動脈硬化との関係
- 再生医療

所属学会と活動

日本透析医学会専門医・指導医 日本腎臓学会専門医・指導医 日本内科学会認定医・総合内科専門医 日本医工学治療学会評議員
日本フットケア学会理事 日本下肢救済・足病学会評議員 日本病態栄養学会評議員 日本再生医療学会認定医・代議員
日本高血圧学会 日本静脈経腸栄養学会 日本糖尿病学会 日本アフェレンス学会評議員 日本急性血液浄化学会 日本腹膜透析学会
国際腎臓学会 アメリカ腎臓学会 欧州連合透析移植学会 日本リウマチ学会 日本臨床腎移植学会



腎臓リハビリテーション

これまで腎機能が悪くなっている方には運動は制限するべきといわれてきましたが、近年はむしろ「適度な運動をすることが腎機能改善や透析導入の防止のための新たな治療」として期待されています。

リハビリテーション科 主任
作業療法士 西村 彰紀



1. 腎臓は、からだを正常な状態に保つ大切な臓器

腎臓は、一般的に尿を作る臓器であることは知られているかもしれませんが、その他にも、体内の水分の調整や電解質などの調整を行い体内の恒常性を保ったり、ホルモンの分泌を行う役割があります。腎臓が悪くなると貧血、骨粗しょう症、高血圧などを引き起こし、重症になると全身浮腫（心不全、肺水腫）や消化器症状、高度な高血圧、意識障害などを引き起こします。

現在、わが国の慢性腎臓病（CKD）患者数は約1,330万人、透析患者数は約33万人と推定されています。腎臓リハビリテーションは「腎疾患や透析医療に基づく身体的・精神的影響を軽減させ、症状を調整し、生命予後

を改善し、心理社会的ならびに職業的な状況を改善することを目的として、運動療法、食事療法と水分管理、薬物療法、教育、精神・心理的サポートなどを行う、長期にわたる包括的なプログラム」とされ、2011年に腎臓リハビリテーション学会が設立されました。

CKD発症の原因は様々ありますが、超高齢化が進む近年、糖尿病、高血圧、動脈硬化といった生活習慣病に関連したものが多くなってきています。これまで、腎機能が悪くなっている方には運動は制限するべきといわれてきましたが、近年はむしろ**適度な運動をすることが腎機能改善や透析導入の防止のための新たな治療**として期待されています。

シヨンってなんだろう？

慢性腎臓病(CKD)の原因

超高齢化社会・糖尿病・高血圧・動脈硬化といった生活習慣病が慢性腎臓病(CKD)の原因になることがあります。



2. 運動の種類は、大きく分けて2種類

『レジスタンス運動』と『有酸素運動』両方を組み合わせて実施できるとよいでしょう。

筋肉量・筋力増加

レジスタンス運動

抵抗(レジスタンス)をかけた状態で行う運動で、筋力の強化が目的です。運動の強さは皆さんそれぞれで異なりますが、レジスタンス運動は、続けて10～15回行うのが「ややきつい」くらいの強度で行います。

週2～3回を目安に！

例) ダンベル体操、ゴムバンドなど



体を動かし巡りをよくする

有酸素運動

継続的に比較的弱い力で長時間行える強さで行う運動です。有酸素運動は、10分以上続けられる比較的弱い力で行います。目標は1日合計20分以上としましょう。

週3～5回を目安に！

例) 自転車エルゴメーター、ウォーキング、スイミングなど



3. 運動の順番と運動する上での注意

最初は下肢の自動運動など体調の確認から始め、レジスタンス運動、有酸素運動と進め、最後にストレッチを行います。これまで運動経験のない方が、いきなり運動を始めてしまうと心臓・筋肉などに対する負担が強くなってしまいます。まずは、きつくない強さで短い時間から運動を始めてみるとよいでしょう。また、運動は1回では結果がでません。毎日の日課に取り入れ、継続的に行うことが重要です。



がんサロン

がん体験者の語りの場です。ふらっとお気軽にお越しください!

〈場所〉2階21番 オンコロジーセンター待合室
参加費無料・事前申込不要・自由参加

〈対象〉患者さんとそのご家族
〈定例〉第3土曜日(祝日除く)

「高額療養費」

～医療費を大幅に下げる
「高額療養費制度」の使い方～

〈最初の30分に〉 医事課高額療養費担当者
伊代野良太 副主任によるレクチャー付

9/15(土)
14～16時

10/20(土)
14～16時

「リンパ浮腫のセルフケア間違っていますか？」

～セルフケア、ドレナージ(マッサージ)について～

〈最初の30分に〉リンパ浮腫療法士 岡本明恵 看護師によるレクチャー付

2018年8月3日
新しい救急車が仲間
入りしました

救急車が新しくなりました!

これで
2台目になります!



元々当院では救急車を1台所有しておりましたが、より一層の救命救急センター機能の充実に向け、この度新しい救急車を導入する運びとなりました。以前、患者さんの転院搬送は消防署に依頼していましたが、本来の地域における救急業務を妨げることがないように当院所有の救急車を極力使用しております。今回導入の救急車はこれまでと比較して高さがあるので、車内の身動きが取り易いことに加え、新型のサイレンが装備されており、交通量の多い交差点などでも気づきやすく安全に目的地にたどり着くことができます。

医療法人 沖縄徳洲会

湘南鎌倉総合病院



〒247-8533 神奈川県鎌倉市岡本1370番1
TEL 0467-46-1717(代表) FAX:0467-45-0190
ホームページアドレス: <http://www.shonankamakura.or.jp>
(直通)健康管理センター:0467-44-1454 人工膝関節センター:0467-46-7172
しょうなんメール 編集・発行:湘南鎌倉総合病院 年報広報誌委員会

SHONAN KAMAKURA
GENERAL HOSPITAL



第3回 湘南鎌倉マンモサタデー



乳がん

10月は『ピンクリボン月間』

サポートミーティング 開催!



日時: **10月27日(土) 13:00~16:00**

会場: 湘南鎌倉総合病院 別館 2F 健康管理センター / 別館 3F 講堂

乳がんサポートミーティング 内容

13:00 ~14:00

ミニレクチャー

当院のスペシャリストがミニレクチャーを行います!

別館3F
講堂

- アピランスケアについて
- 乳がんと薬物療法
- 放射線治療について

14:00 ~16:00

パネル展示

パネル展示&担当者がブースでお待ちしています!

ピンクリボンクイズに挑戦!

がんサロンで語ろう!

別館2F
健康管理センター

- 乳がん検診
- 乳がんの検査・治療
- 乳房再建について
- リンパ浮腫の予防と治療
- がんサロン(カフェ)開催 など

湘南鎌倉総合病院

定期開催

院内コンサート

1階エントランス
無料のコンサート

当院1階エントランスにてコンサートを開催致します。

音楽の溢れる空間、心温まるひとときを
どうぞお楽しみください!

第8回院内コンサート ～夏空に向かって～ 2018年8月8日(水)

地元鎌倉を中心に活躍中の音楽家、声楽家の村田望様とピアニストの中澤美紀様をお迎えし、第8回湘南鎌倉総合病院「院内コンサート」を開催しました。

エントランスには美しいソプラノの歌声が響き、優しいピアノの音色が満ち、病院であることを忘れるようなコンサートとなりました。演奏曲目は、鳥たちは毎年のように（モーツァルト）、アヴェ・マリア（カッチーニ）、母の教え給いし歌（ドヴォルザーク）、翼、小さな空（武満徹）、虹のかなたに（「オズの魔法使い」より）、スタンド・アローン（「坂の上の雲」より）「夏空に向かって」という素敵なタイトルのプログラムでしたが、当日は大型の台風13号が接近しており、あいにく夏らしい空ではありませんでした。しかしながら、温かい心と想いのこもった演奏に、お越しくださった皆様の心の中には、美しい夏空が広がり、大きな虹が架かり、爽やかな風が吹いたのではないのでしょうか？

音楽は、聴いた方それぞれの心に思い思いに響きます。真剣に耳を傾け、一音一音、歌詞の一語一語を逃さないようにお聴きくださった方、微笑みながらお聴きくださった方、頷きながらお聴きくださった方、会場となったエントランスには心地よい空間が広がりました。アンコールは、「翼をください」でした。



第9回 院内コンサート

日時:10月20日(土)15:30~16:10

出演:藤沢男声合唱団

曲
目

- 仲間たちよ歌おう!(藤沢男声合唱団 団歌)
- おなかのへるうた ●いぬのおまわりさん
- サッチャーン ●バナナを食べる時のうた
- フィンランディア ●エーデルワイス
- 行け、我が想いよ黄金の翼に乗りて
- 美しく碧きドナウ



♪演奏曲目は変更になる場合がございます。♪お問い合わせ：院内コンサート実行委員会